

FACSIMILE EQUIPMENT

Patent Number: JP8070378
Publication date: 1996-03-12
Inventor(s): KAWAMURA KOJI
Applicant(s): CANON INC
Requested Patent: ☐ JP8070378
Application Number: JP19940227236 19940829
Priority Number(s):
IPC Classification: H04N1/32; H04N1/00
EC Classification:
Equivalents:

Abstract

PURPOSE: To obtain a facsimile equipment which is capable of quickly notifying the reception of a fax to the individual of a transmission destination.

CONSTITUTION: When fax data is transmitted to this equipment 1 via a public line 4, an address recognition part 11 recognizes the individual name of a transmission destination from the fax data. A control part 15 retrieves the telephone number corresponding to the individual name of the transmission destination in a transmission destination information storage part 12 and reads the number. The control part 15 rings the extension telephone set 2 of the telephone number by an auto dialer 13. When the individual of the transmission destination responds to the ringing extension telephone set 13, the auto dialer 13 detects the response, reads a message from a message storage part 130, performs a voice synthesis of the message by a voice synthesis part 131 and outputs the message to the extension telephone set 2. Thus, even if each individual of the transmission destination is apart from the facsimile equipment 1, he can quickly know that the fax data is transmitted to him.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-70378

(43) 公開日 平成8年(1996)3月12日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 N	1/32	L		
	1/00	1 0 4 B		

審査請求 未請求 請求項の数 3 F D (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平6-227236

(22) 出願日 平成6年(1994)8月29日

(71) 出願人 000001007

キヤノン株式会社

東京都大田区下丸子3丁目30番2号

(72) 発明者 川村 興二

東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤ

ノン株式会社内

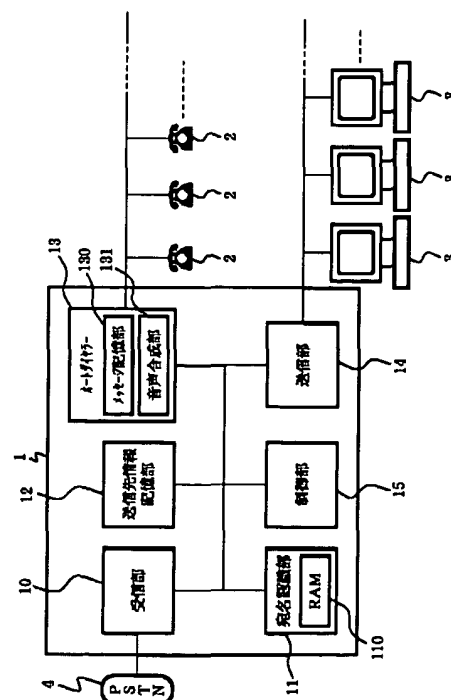
(74) 代理人 弁理士 渡部 敏彦

(54) 【発明の名称】 ファクシミリ装置

(57) 【要約】

【目的】 ファックスの着信を送信先個人に速やかに知らせることの可能なファクシミリ装置を提供する。

【構成】 ファックスデータが公衆回線4を介して本装置1に送信されると、宛名認識部11はそのファックスデータから送信先個人名を認識する。制御部15はその送信先個人名に対応する電話番号を送信先情報記憶部12を検索して読み出す。制御部15はその電話番号の内線電話機2をオートダイヤラー13により鳴動させる。送信先個人がその鳴動している内線電話機13に応答すると、オートダイヤラー13はそれを検出し、メッセージ記憶部130からメッセージを読み出し、そのメッセージを音声合成部131により音声合成して当該内線電話機2に出力する。これにより、各送信先個人はファクシミリ装置1から離れた場所に居ても、ファックスデータが自分宛に送信されたことを速やかに知ることができる。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数の内線電話機が接続され、公衆回線を介してファックスデータの送受信を行うファックス装置であって、送信先個人名と前記内線電話機の電話番号とを対応付けて記憶する送信先情報記憶手段と、受信したファックスデータから送信先個人名を認識する認識手段と、ファックスデータの着信を知らせるメッセージを記憶するメッセージ記憶手段と、メッセージを音声合成して出力する音声合成手段と、前記認識手段により認識された送信先個人名に対応する電話番号を前記送信先情報記憶手段を検索して読み出し、その読み出した電話番号の内線電話機を鳴動させて応答を検出した場合に、前記メッセージ記憶手段からメッセージを読み出し、そのメッセージを音声合成手段により音声合成して当該内線電話機に出力する制御手段とを有することを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項2】 ファックスデータを表示する複数の表示手段が接続され、公衆回線を介してファックスデータの送受信を行うファックス装置であって、送信先個人名と前記表示手段の識別情報とを対応付けて記憶する記憶手段と、受信したファックスデータから送信先個人名を認識する認識手段と、この認識手段により認識された送信先個人名に対応する識別情報を前記記憶手段を検索して読み出し、その読み出した識別情報の表示手段にファックスデータを送信する送信手段とを有することを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項3】 複数の内線電話機及びファックスデータを表示する複数の表示手段が接続され、公衆回線を介してファックスデータの送受信を行うファックス装置において、送信先個人名と前記内線電話機の電話番号及び前記表示手段の識別情報とを対応付けて記憶する送信先情報記憶手段と、受信したファックスデータから送信先個人名を認識する認識手段と、ファックスデータの着信を知らせるメッセージを記憶するメッセージ記憶手段と、メッセージを音声合成して出力する音声合成手段と、前記認識手段により認識された送信先個人名に対応する電話番号及び識別情報を前記送信先情報記憶手段を検索して読み出し、その読み出した電話番号の内線電話機を鳴動させて応答を検出した場合に、前記メッセージ記憶手段からメッセージを読み出し、そのメッセージを音声合成手段により音声合成して当該内線電話機に出力するとともに、読み出した識別情報の表示手段にファックスデータを送信する送信制御手段とを有することを特徴とするファクシミリ装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、ファクシミリ装置に関し、より詳しくは、複数の内線電話機又は表示手段が接続されたファクシミリ装置に関する。

【0002】

2

【従来の技術】 従来のファクシミリ装置は、公衆回線を介してファックスデータを受信すると、その受信したファックスデータを内部のメモリで展開した後、熱転写方式やインクジェット方式によって紙に印刷するものである。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 ファクシミリ装置は、一般的に多数の人によって共用されているため、いつ自分宛のファックスが届いたか分からず、しばらく放置されているケースが多い。このため、ファックスの着信が送信先個人に速やかに知らされないという問題があった。また、何度もファクシミリ装置が設置されている所まで足を運んだり、送信されたデータ全てを紙に印刷するのは無駄が多く、業務効率が悪いという問題があった。さらに、機密性の高いものでも紙に印刷されて出力されるため、機密保持という面でも問題があった。

【0004】 そこで、本発明は、上記事情に鑑みてなされたものであり、ファックスの着信を送信先個人に速やかに知らせることの可能なファクシミリ装置を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】 請求項1記載のファクシミリ装置は、複数の内線電話機が接続され、公衆回線を介してファックスデータの送受信を行うファックス装置であって、送信先個人名と前記内線電話機の電話番号とを対応付けて記憶する送信先情報記憶手段と、受信したファックスデータから送信先個人名を認識する認識手段と、ファックスデータの着信を知らせるメッセージを記憶するメッセージ記憶手段と、メッセージを音声合成して出力する音声合成手段と、前記認識手段により認識された送信先個人名に対応する電話番号を前記送信先情報記憶手段を検索して読み出し、その読み出した電話番号の内線電話機を鳴動させて応答を検出した場合に、前記メッセージ記憶手段からメッセージを読み出し、そのメッセージを音声合成手段により音声合成して当該内線電話機に出力する制御手段とを有することを特徴とするものである。

【0006】 請求項2記載のファクシミリ装置は、ファックスデータを表示する複数の表示手段が接続され、公衆回線を介してファックスデータの送受信を行うファックス装置であって、送信先個人名と前記表示手段の識別情報とを対応付けて記憶する記憶手段と、受信したファックスデータから送信先個人名を認識する認識手段と、この認識手段により認識された送信先個人名に対応する識別情報を前記記憶手段を検索して読み出し、その読み出した識別情報の表示手段にファックスデータを送信する送信手段とを有することを特徴とするものである。

【0007】 請求項3記載のファクシミリ装置は、複数の内線電話機及びファックスデータを表示する複数の表示手段が接続され、公衆回線を介してファックスデータの送受信を行うファックス装置において、送信先個人名

と前記内線電話機の電話番号及び前記表示手段の識別情報とを対応付けて記憶する送信先情報記憶手段と、受信したファックスデータから送信先個人名を認識する認識手段と、ファックスデータの着信を知らせるメッセージを記憶するメッセージ記憶手段と、メッセージを音声合成して出力する音声合成手段と、前記認識手段により認識された送信先個人名に対応する電話番号及び識別情報を前記送信先情報記憶手段を検索して読み出し、その読み出した電話番号の内線電話機を鳴動させて応答を検出した場合に、前記メッセージ記憶手段からメッセージを読み出し、そのメッセージを音声合成手段により音声合成して当該内線電話機に出力するとともに、読み出した識別情報の表示手段にファックスデータを送信する送信制御手段とを有することを特徴とするものである。

【0008】

【作用】請求項1記載のファクシミリ装置によれば、ファックスデータが公衆回線を介して本ファックス装置に送信されると、認識手段は、そのファックスデータから送信先個人名を認識する。制御手段は、認識された送信先個人名に対応する電話番号を送信先情報記憶手段を検索して読み出す。制御手段は、その読み出した電話番号の内線電話機を鳴動させる。送信先個人がその鳴動している内線電話機に応答すると、制御手段は、その応答を検出し、メッセージ記憶手段からメッセージを読み出し、そのメッセージを音声合成手段により音声合成して当該内線電話機に出力する。これにより、各送信先個人はファクシミリ装置から離れた場所に居ても、ファックスデータが自分宛に送信されたことを速やかに知ることができる。

【0009】請求項2記載のファクシミリ装置によれば、ファックスデータが公衆回線を介して本ファックス装置に送信されると、認識手段は、そのファックスデータから送信先個人名を認識する。送信手段は、認識された送信先個人名に対応する識別情報を記憶手段を検索して読み出す。送信手段は、その読み出した識別情報の表示手段にファックスデータを電子メールとして送信する。表示手段は、送信された電子メールを表示する。これにより、各送信先個人はファクシミリ装置から離れた場所に居ても、自分宛に送信されたファックスの内容を速やかに知ることができる。

【0010】請求項3記載のファクシミリ装置によれば、ファックスデータが公衆回線を介して本ファックス装置に送信されると、認識手段は、そのファックスデータから送信先個人名を認識する。送信制御手段は、認識された送信先個人名に対応する電話番号及び識別情報を送信先情報記憶手段を検索して読み出す。送信制御手段は、その読み出した電話番号の内線電話機を鳴動させる。送信先個人がその鳴動している内線電話機に応答すると、送信制御手段は、その応答を検出し、メッセージ記憶手段からメッセージを読み出し、そのメッセージを

音声合成手段により音声合成して当該内線電話機に出力するとともに、その読み出した識別情報の表示手段にファックスデータを電子メールとして送信する。表示手段は、送信された電子メールを表示する。これにより、各送信先個人はファクシミリ装置から離れた場所に居ても、ファックスデータが自分宛に送信されたこと及び自分宛に送信されたファックスの内容を速やかに知ることができる。

【0011】

10 【実施例】以下、本発明の実施例を図面を参照して詳述する。

【0012】図1は本発明のファクシミリ装置の一実施例を示すブロック図である。

【0013】このファクシミリ装置1は、複数の内線電話機2及びファックスデータを表示する複数の表示手段としてのパーソナルコンピュータ（以下「パソコン」と略す。）3が接続され、公衆回線（PSTN）4を介してファックスデータの送受信を行うものである。

20 【0014】また、このファクシミリ装置1は、公衆回線4からファックスデータを受信する受信部10と、受信されたファックスデータから宛名を認識する宛名認識部11と、送信先個人名と内線電話番号及びパソコン3の識別情報としての電子メールアドレスとを対応付けた登録リストを記憶する送信先情報記憶部12と、内線電話機2にファックスの着信を知らせるための電話をかける機能を備えたオートダイヤラー13と、パソコン3にファックスの内容を電子メールとして送信する送信部14と、この装置1の各部を制御する制御部15とを有して構成されている。

30 【0015】宛名認識部11は、データを展開するためのRAM110を備え、ファックスデータのうち宛名記載部分に対応する部分をRAM110上に展開し、展開したデータから字体を認識し、送信先個人名としての宛名を認識をするものである。なお、通常は、宛名はファックス用紙の1枚目の上部に書いてあるため、本実施例では先頭部をRAM110上に展開するとする。

40 【0016】オートダイヤラー13は、ファックスデータの着信を知らせるメッセージを記憶するメッセージ記憶部130と、メッセージを音声合成して出力する音声合成部131とを備えたものである。

【0017】次に、本実施例の動作を図2及び図3に示すフローチャートに従って説明する。図2は送信先個人にファックスの着信を電話により知らせるフローチャートであり、図3は送信先個人にファックスデータを電子メールとして送信するフローチャートである。なお、各個人には内線電話機2及びパソコン3がそれぞれ割り当てられているとする。

【0018】まず、送信先個人にファックスの着信を電話により知らせる動作を図2に従って説明する。

50 【0019】受信部10は、公衆回線4を介して送信さ

5

れてきたファックスデータを受信する(S1)。

【0020】受信部10が、ファックスデータを全て受信し終わると、宛名認識部11にファックスデータの先頭部が取り込まれ、宛名認識部11は、その先頭部から宛名を認識する(S2)。

【0021】制御部15は、送信先情報記憶部12に登録してある部内又は課内の個人名のリストから宛名認識部11により認識された宛名と同一の個人名を検索する。個人名が見つかったと、制御部15は、その個人名に対応する電話番号を送信先情報記憶部12に記憶されている登録リストから検索する(S3)。

【0022】制御部15は、検索した電話番号にオートダイヤラー13により自動で電話をかける(S4)。本人に割り当てられた内線電話機1が鳴る。本人が電話を取ると、オートダイヤラー13はそれを検出し、メッセージ記憶部130からメッセージを読み出し、そのメッセージを音声合成部131により音声合成して音声メッセージ例えば「ファックスが入りました」というメッセージを流す。

【0023】これにより、自分宛のファックスの着信を電話によって知ることができるため、ファクシミリ装置1の所まで何度も足を運ぶ必要がなくなり、業務の効率が向上する。

【0024】次に、送信先個人にファックスデータを電子メールとして送信する動作を図3に従って説明する。

【0025】受信部10は、公衆回線4を介して送信されてきたファックスデータを受信する(S11)。

【0026】受信部10が、ファックスデータを全て受信し終わると、宛名認識部11にファックスデータの先頭部が取り込まれ、宛名認識部11は、その先頭部から宛名を認識する(S12)。

【0027】制御部15は、送信先情報記憶部12に登録してある部内又は課内の個人名のリストから宛名認識部11により認識された宛名と同一の個人名を検索する。個人名が見つかったと、制御部15は、その個人名に対応する電子メールアドレスを送信先情報記憶部12に記憶されている登録リストから検索する(S13)。

【0028】電子メールアドレスが見つかったと、送信部14は、制御部15の制御により、その見つけた電子メールアドレスに対応するパソコン3にファックスデータを電子メールとして送信する(S14)。

【0029】これにより、本人のデスク上のパソコン3に電子メールとしてファックスの内容が届く。使用者は、席を立つことなくファックスの内容を確認することができるため、機密の保持と同時にペーパーレスといった資源節約の効果もあり、業務の効率が向上する。

【0030】なお、本発明は上記実施例に限定されずに

6

種々に変形実施できる。例えば、内線電話番号を検索する際に、電子メールアドレスも検索するようにし、電話の呼び出しに相手が応答した場合に、音声メッセージを流すとともに、電子メールを送信するようにしてもよい。

【0031】

【発明の効果】以上詳述した本発明によれば、以下の効果を奏する。

【0032】請求項1記載の発明によれば、ファックスデータが送信されると、送信先個人に割り当てられた内線電話機を鳴動させ、送信先個人がそれに応答すると、ファックスデータの着信を知らせるメッセージを流すので、ファックスの着信を送信先個人に速やかに知らせることが可能となることから、ファクシミリ装置が設置されている所へ何度も足を運ぶ必要がなくなり、業務効率の向上を図ることができる。

【0033】請求項2記載の発明によれば、ファックスデータが送信されると、送信先個人に割り当てられた表示手段にファックデータを電子メールとして送信するので、ファックスの着信及び内容を送信先個人に速やかに知らせることが可能となることから、ファクシミリ装置が設置されている所へ何度も足を運ぶ必要がなくなり、業務効率の向上を図ることができ、機密保持を確保でき、ペーパーレスといった資源節約の効果も得られる。

【0034】請求項3記載の発明によれば、ファックスデータが送信されると、送信先個人に割り当てられた内線電話機を鳴動させ、送信先個人がそれに応答すると、ファックスデータの着信を知らせるメッセージを流すとともに、送信先個人に割り当てられた表示手段にファックデータを電子メールとして送信するので、ファックスの着信及びその内容を送信先個人に速やかに知らせることが可能となることから、ファクシミリ装置が設置されている所へ何度も足を運ぶ必要がなくなり、業務効率の向上を図ることができ、機密保持を確保でき、ペーパーレスといった資源節約の効果も得られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のファクシミリ装置の一実施例を示すブロック図である。

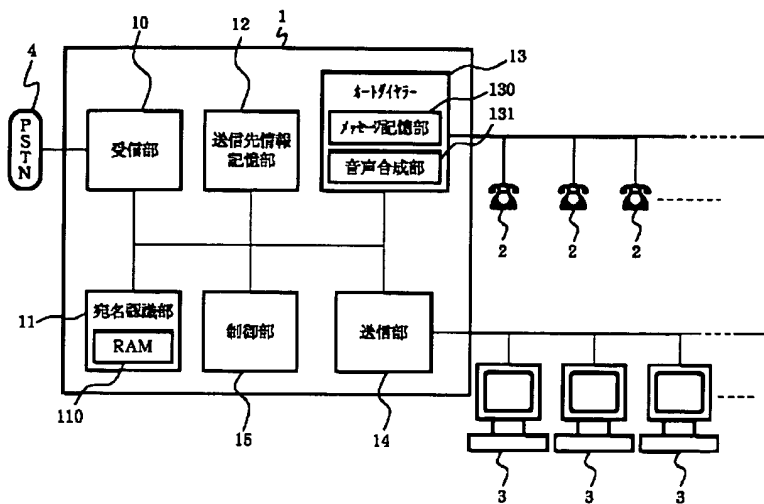
【図2】本実施例の動作を示すフローチャートである。

【図3】本実施例の動作を示すフローチャートである。

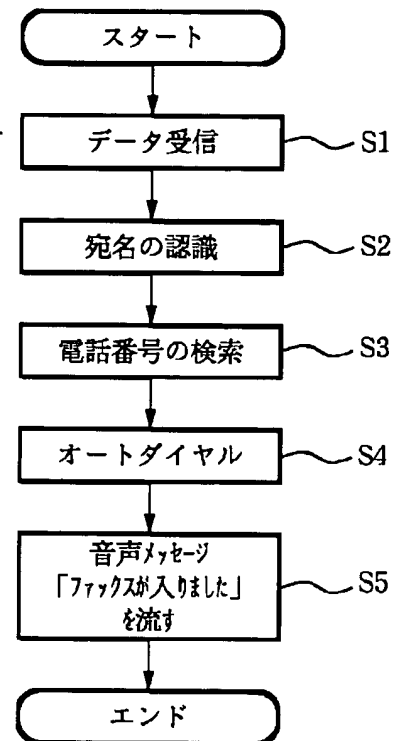
【符号の説明】

- 1 ファクシミリ装置
- 2 内線電話機
- 3 パーソナルコンピュータ (表示手段)
- 4 公衆回線
- 14 送信部
- 15 制御部

【図1】



【図2】



【図3】

